



地域密着型金融の取り組み
～平成25年度中間期の進捗状況について～

SHIGA BANK

目次

- ・地域密着型金融の推進に関する基本方針 P.1
- ・CSR憲章(経営理念) P.2
- ・「3つのブランド戦略」に関する取り組み P.3 ~ P.12
- ・「地域経済への更なる貢献」に関する取り組み P.13
- ・地域密着型金融の推進の数値目標および実績 P.14

地域密着型金融の推進に関する基本方針

地方銀行は地域社会と歩みをともにしており、地域の成長なくして当行の成長はありません。

私たちの使命は「地域社会の未来」を見すえた銀行経営を通じて、CSR憲章にかかげる「共存共栄」を実現していくことです。その実現のために、当行はこれからの10年を展望したあるべき姿を『お客さま・地域とともに未来へ歩む銀行』とし、その第一ステージとして第5次長期経営計画(平成25年4月～平成28年3月)に挑み、その推進を通じて地域密着型金融の推進を図ってまいります。

具体的には、当行独自の「3つのブランド戦略～知恵と親切の提供～」(「ネットワークのしがぎん」「アジアに強いしがぎん」「CSRのしがぎん」)の実践に取り組み、また3つの視点(「お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮」「地域の面的再生への積極的な参画(地域経済への更なる貢献)」「地域やお客さまに対する積極的な情報発信」)を踏まえて地域密着型金融の推進に取り組んでまいります。

CSR憲章(経営理念)

私たちは、伝統ある近江商人の「三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)」の精神を継承した行是「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」をCSR(企業の社会的責任)の原点とし、社会の一員として「共存共栄」を実現してまいります。

(地域社会との共存共栄)

地域とともに歩む銀行として、お客さまの信頼と期待にお応えするため、「健全」と「進取」の精神を貫き、地域社会の発展に努めます。

(役職員との共存共栄)

役職員一人ひとりの人権や個性を尊重し、働きがいのある職場づくりに努め、心身ともに「クリーンバンクしがぎん」の実現に努めます。

(地球環境との共存共栄)

琵琶湖畔に本拠を置く企業の社会的使命として「環境経営」を実践し、地球環境を守り、持続可能な社会づくりに努めます。

「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み(1)

エコビジネスマッチングフェア2013

- ・環境ビジネスに取り組む企業のサポートを目的として、平成25年6月19日に「しがぎん」エコビジネスマッチングフェア2013を開催しました。
- ・このフェアでは、当行が持つ豊富なお取引先のネットワークを活用し、環境ビジネスに積極的に取り組まれているお取引先同士を結びつけることで商流を創出し、今後の新たな事業展開に向けたお手伝いをしています。
- ・今回で6回目の開催となります本フェアには、89社・団体がご出展。1,780名のご来場をいただき、678件の熱心な商談が行われました。



(エコビジネスマッチングフェア2013)

ビジネスマッチングで「商流」の創出を支援しています

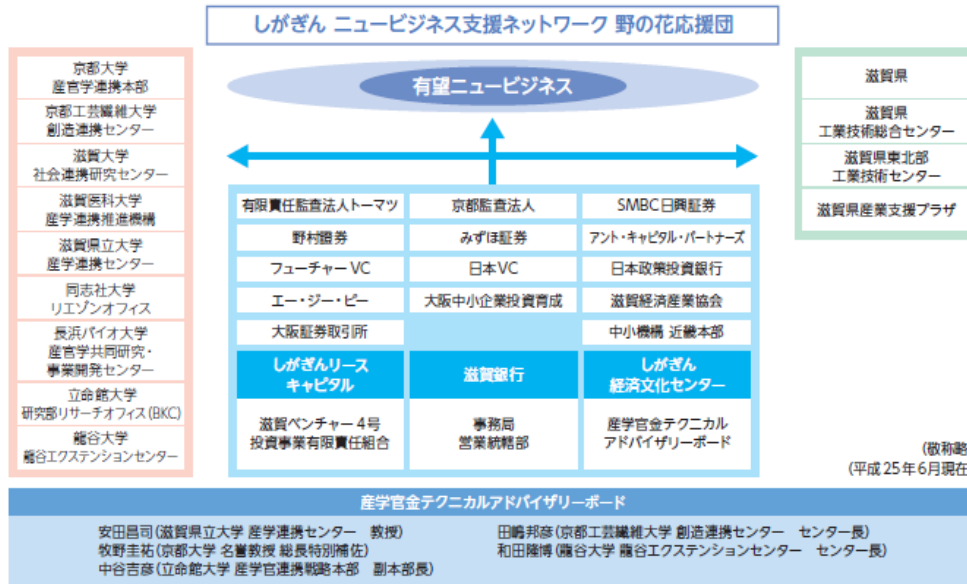
地元産品の販路拡大の取り組み

- ・滋賀県の農産物や資源を生かして新しい価値を生み出していく6次産業化の普及・啓発を目的として、4月に「6次産業化セミナー」を開催しました。
- ・7月には「“農・食”地元産品のブランド化と販路拡大セミナー」を開催し、農業・漁業・食品製造業などのお取引先を対象に、生産した食材や商品のプロモーション・PR方法について学んでいただきました。
- ・また、当行は滋賀県産品のブランド化を支援するため、関西地銀では初めて、株式会社ぐるなびとビジネスマッチング契約を締結しました。



(6次産業化セミナー)

「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み(2)



起業の夢を強力にサポートします

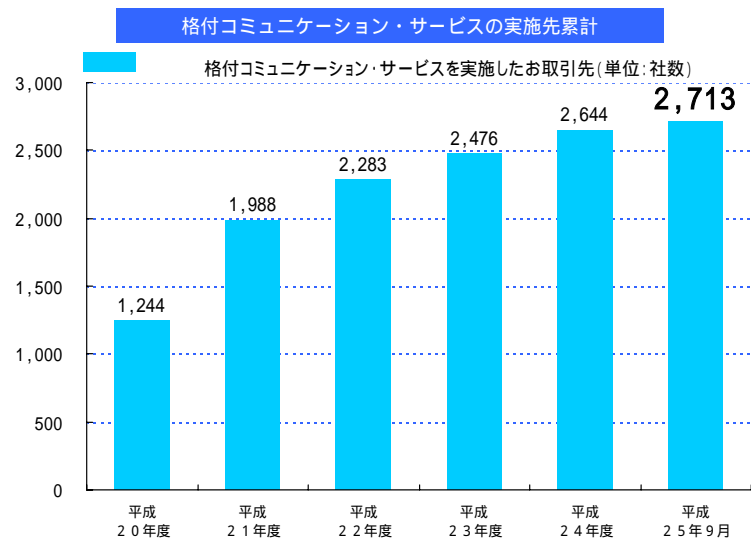
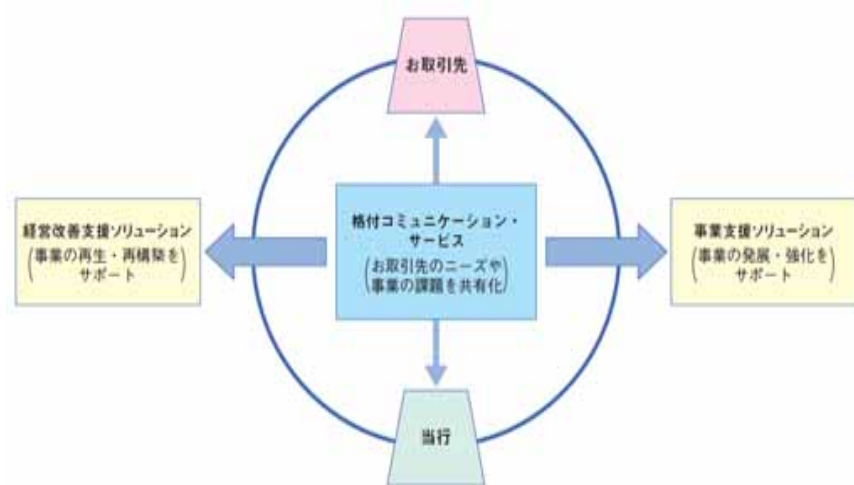
「野の花応援団」

- ・起業・新事業創出への支援を一層強化するため、当行は滋賀県をはじめとした行政機関、京滋地区の9大学、証券会社などと提携した、地域密着型のしがぎんニュービジネス支援ネットワーク「野の花応援団」を組織(平成14年)し、お取引先のサポートに取り組んでいます。
- ・「産学官・金(金融)」の英知を結集した全国でもユニークなネットワークで、起業や新分野への進出を目指しておられるお取引先に対し、技術評価を含めた経営のサポートや、ファイナンスツールのご提供、株式公開支援などを行っています。
- ・また、ニュービジネスサポート資金(通称「野の花資金」)では、ニュービジネスの「成長性」や「将来性」を目利きし、原則 3,000万円までなら無担保でご融資を行っています。

しがぎんビジネスフォーラム「サタデー起業塾」

- ・当行は、ニュービジネスの育成が地域金融機関の使命と考え、平成12年度より毎年「サタデー起業塾」を開催しており、平成24年度までの卒業生は、延べ1,811名にのぼります。
- ・平成25年度のテーマは「新たな成長を実現するニュービジネスの創出」とし、ニュービジネスおよび第二創業に取り組むお取引先を対象に、内容を充実させて開催しています。

「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み(3)

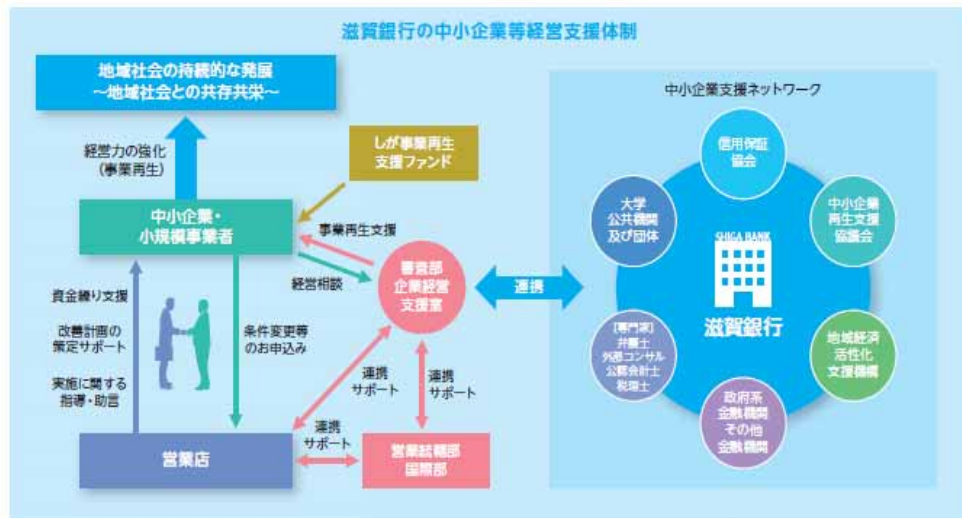


お取引先の経営改善のために
経営者の皆さまと真剣に向き合います

格付コミュニケーション・サービス
経営改善計画の策定サポート

- ・当行は、「企業格付」をお取引先と当行をつなぐ合理的なコミュニケーションツールと位置付けています。
- ・このサービスは、格付プロセスを通じて把握したお取引先の「強み」、「弱み」を共有し、問題解決や財務改善を図ることで、お取引先の永続的な経営基盤の構築や企業価値向上を目指すものです。
- ・具体的には、お取引先の経営ビジョンをお伺いしたうえで、当行が認識した課題や問題点を解決するための改善策などを提案、サポートしています。
- ・同サービスは、平成19年8月の開始から平成25年9月末までの間に、2,713社のお取引先に対し、延べ8,389回実施しました。今後も、同サービスを活用してお取引先の経営基盤強化を目指してまいります。
- ・また、「格付コミュニケーション・サービス」で認識したお取引先の課題や問題点を解決するための改善策の一つとして、「経営改善計画」の策定をサポートしています。
- ・策定した経営改善計画の進捗状況は適宜フォローし、お取引先の経営改善に向けた取り組みを時間をかけてサポートしています。

「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み(4)

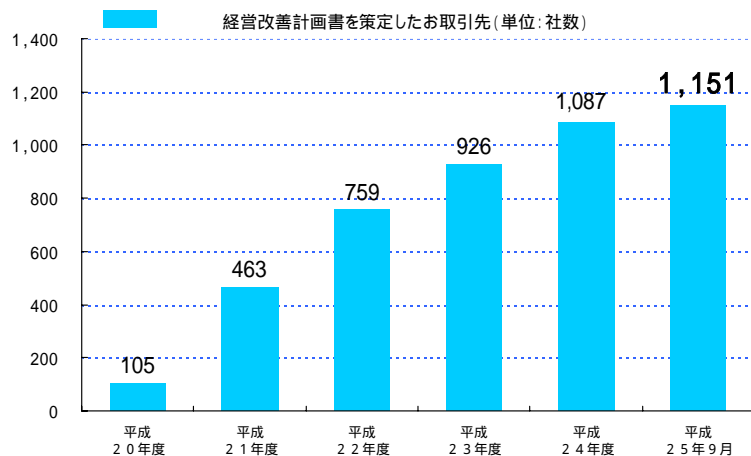


お取引先の経営改善のために
経営者の皆さまと真剣に向き合います

経営支援の体制強化

- ・営業店と審査部、営業統轄部の専門スタッフが、お取引先のご要望や経営状況に応じた「事業支援」ならびに「経営改善支援」に積極的に取り組んでいます。
- ・具体的には、売上の向上や経費の削減、および財務内容の改善等に向けたご提案や、お取引先の課題や問題点を解決するための「経営改善計画」策定支援、さらに組織再編、事業譲渡、M&A等多面的な再生スキームの構築を行っています。
- ・財務の再構築を含めた抜本的な経営改善が必要なお取引先には、審査部「企業経営支援室」が中心となって、DDS(デット・デット・スワップ)などの金融支援を伴う本格的な事業再生支援にも取り組んでいます。金融支援を含む事業再生は、公正中立な第三者機関である中小企業再生支援協議会等と連携を強化し、お取引先の再生に全力をあげています。
- ・今後も、本支店一体となった企業再生支援の一層の充実を図ってまいります。

経営改善計画書の策定先累計



「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み(1)

「アジアに強いしがぎん」、
お取引先の海外進出を力強くサポートします。

お取引先の東南アジアを中心とする海外への進出が加速しています。当行は、海外進出がお取引先の一層の事業発展、更には地域経済の活性化につながるものと考え、今後ともお取引先の海外展開をサポートしてまいります。

【業務提携・協力銀行】 (継続中)

銀行名	提携・協力時期
① 香港貿易発展局(香港)	平成25年 9月
② メトロポリタン銀行(フィリピン:マニラ)	平成25年 7月
③ タイ国投資委員会(タイ:バンコク)	平成25年 6月
④ インドステイト銀行(インド:ムンバイ)	平成25年 2月
⑤ バンクネガラインドネシア(インドネシア:ジャカルタ)	平成24年 9月
⑥ バンコック銀行(タイ:バンコク)	平成20年11月
⑦ カシコン銀行(タイ:バンコク)	平成20年11月
⑧ 中国銀行(中国:北京)	平成15年 6月
⑨ 中国工商銀行(中国:北京)	平成14年11月

- 1 優れた交通設備があるバンコクは、三層タワナーの「トゥクトゥク」が活躍
- 2 世界中から「ヒト・モノ・カネ」が集まる香港
- 3 超高層ビルが立ち並ぶ、眠らない街・上海



アジアビジネスを積極的にサポートします

近畿で唯一海外に支店を有する地方銀行として

- ・当行は近畿で唯一、海外に支店を有する地方銀行として、香港支店で銀行業務を行っています。加えて、上海駐在員事務所、バンコク駐在員事務所、国際部アジアデスク、営業店のネットワークを活用し、お取引先のアジアにおける新たな拠点進出や販路拡大に向け、引き続きサポートしてまいります。

アジアでのしがぎんネットワークを強化

- ・タイ国投資委員会、香港貿易発展局と業務提携を、フィリピンの商業銀行であるメトロポリタン銀行と協力関係を結びました。これにより中国、東南アジアに進出をされている、あるいは今後進出を計画されているお取引先への現地情報の提供や進出サポートを拡大します。

「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み(2)



(バンコク駐在員事務所の入居するビル)



(インドネシア進出セミナー)

国内外でアジアビジネスの情報をご提供します

バンコク駐在員事務所の体制強化

- ・東南アジア全域に展開されるお取引先の現地法人運営の総合サポートや進出アドバイス等の体制強化のため、スタッフを2名から4名に増員しました。

海外短期研修制度の新設

- ・アジアビジネスサポート強化のために、「エリア国際業務推進リーダー」として海外ソリューションメニューを活用した営業推進ができる行員の育成に取り組んでいます。
研修期間:3ヵ月 研修場所:当行香港支店

インドネシア進出セミナー

- ・インドネシアへ既に進出されている、あるいは今後進出を検討されているお取引先を対象に「インドネシア進出セミナー」を当行の業務提携先の一つであるインドネシア最大の商業銀行バンクネガラインドネシアと共催で開催いたしました。

「CSRのしがぎん」に関する取り組み(1)

PLB3原則

1. 環境保全に役立つ生産・販売・サービス基準を策定します。
2. 環境配慮行動とビジネスチャンスの両立を目指します。
3. 環境リスクを軽減し、持続可能な地域社会を実現します。



地球環境保全を真剣に考えています

「しがぎん琵琶湖原則」(PLB)

- ・お客さまと手を携え、環境保全に向けた取り組みを一層促進させるため、平成17年12月に「しがぎん琵琶湖原則」(PLB = Principles for Lake Biwa)を策定し、琵琶湖をはじめとする地球環境保全への願いを込めたこの原則への賛同を広く呼びかけています。
- ・「PLB」にご賛同いただいたお客さまに対し「PLB格付(環境格付)」を行い、格付評価に応じてご融資金利を最大で年0.5%引き下げる「しがぎん琵琶湖原則支援資金(PLB資金)」(平成17年12月取扱開始)を提供し、お客さまの地球環境保全への取り組みをサポートしています。
- ・PLB資金とエコ・クリーン資金の取扱開始からの累計は、平成25年9月末現在で2,175件の395億円となりました。

「CSRのしがぎん」に関する取り組み(2)

お客さまのご預金を「子供たちの環境教育」に役立てます



〈助成先の学校ビオトープ〉



「エコプラス定期」

- ・環境対応型金融商品「『しがぎん』エコプラス定期」は、平成18年度から、お客さまがATM、インターネットバンキング、テレホンバンキングを利用し、定期預金を1回お預入いただくごとに当行が7円(不要となる申込用紙代の相当額)を積み立てて毎年拠出、子供たちの「環境学習」をお手伝いしています。
- ・エコプラス定期は平成15年より取り扱いを開始し、平成25年9月末現在累計約219万件となっています。
- ・滋賀県内小・中学校でのビオトープづくり資金の助成の取り組みは累計で27校、1,279万円となりました(平成25年9月末現在)。

「CSRのしがぎん」に関する取り組み(3)



お客さまに生物多様性保全を呼びかけています

「生物多様性（Biodiversity）」についての独自の評価体系「PLB格付BD」

- ・「豊かな生物多様性の承継と自然共生社会の構築」に向けた取り組みを新たな挑戦と位置づけ、「生物多様性」について当行独自の評価体系「PLB格付BD」を策定し、平成21年11月より取り扱いを開始しました。
- ・これは、お取引先企業が生物多様性の保全活動に取り組む際の「道しるべ」となるよう、厳選した8項目で評価させていただくものです。そのうえで、企業活動において「生物多様性の保全等に対する配慮がされている」と当行が判断し、お取引先企業が「しがぎん琵琶湖原則支援資金(PLB資金)」を利用される場合、PLB格付での引き下げ幅と合わせて最大で年0.6%の金利引き下げが可能となるものです。
- ・なお、生物多様性格付を環境格付と別立てとして公表したのは、全国の金融機関で初めてです。
- ・取扱開始から平成25年9月末までの間に3,429件のPLB格付BDの評価を行いました。

分野	評価指標(概要)
経営方針	1. 「生物多様性保全」方針の策定状況
推進・管理体制	2. 推進・管理体制の構築状況
活動の実施	3. 影響の考慮と低減・回避のための行動の有無
	4. ビジネスの中への組み込み状況
	5. 自然再生や伝統文化保全の活動への貢献度合
普及啓発・活動の公表	6. 専門的な知識を有する研究機関等との連携状況
	7. 社員や取引先に理解を深める機会の設定状況
	8. 活動や成果の公表状況

「CSRのしがぎん」に関する取り組み(4)

地域に根ざした環境ボランティア活動を展開

<外来魚駆除・釣りボランティア>

- ・近年、琵琶湖では岸辺のほとんどをブラックバスやブルーギルなどの外来魚が占めるようになりました。多くの固有種が生息する貴重な琵琶湖の生態系を守る生物多様性保全の取り組みとして、「外来魚駆除・釣りボランティア」を開催しています。
- ・平成25年度は役職員520名が参加し、1日で外来魚2,507匹を釣り上げ、琵琶湖の深刻な外来魚問題について理解を深めました。



(外来魚駆除・釣りボランティア)

環境金融と生物多様性保全への取り組みを強化

「カーボンニュートラルローン 未来よし」

- ・自然エネルギーの導入促進、琵琶湖の環境と生態系の保全を目的とするサービスです。
- ・これは、お客さまが当行の環境対応型融資商品の利用を通じて「太陽光発電システム」等を導入された場合、削減された温室効果ガスの量を当行が推計し、排出権取引価格を参考に金額換算、琵琶湖の固有種「ニゴロブナ」と「ワタカ」の保護・育成・放流事業に資金を拠出するものです。
- ・なお、各商品で適用される金利プランから更に年0.1%の金利を差し引くことで、環境保全に“志”のあるお客さまをサポートしています。
- ・これまで累計で1,696件(平成25年9月末現在)のご融資をご利用いただき、平成19年度から総額1,040万円を公益財団法人滋賀県水産振興協会が実施する琵琶湖の生態系保全事業に寄贈しました。これは、ニゴロブナ24万匹、ワタカ18万匹相当にあたります。

「地域経済への更なる貢献」に関する取り組み(1)

地域振興室がスタート

- 平成25年4月1日、当行の持つ県内外のネットワークを活用し、地域経済の更なる活性化を目指す「地域振興室」を新たに設置しました。具体的には、以下の5点を重点的に実行していきます。

地方公共団体等との連携強化
地域開発・企業誘致
地域ブランドの普及・創出
補助金・助成金の活用提案
地元経営者とのネットワークづくり

●「地域振興室」の設置



地域の成長なくして当行の成長なし

にじみ出し戦略

- 平成25年6月25日、中小企業向け貸出の強化を図るため、牧野支店(大阪府枚方市)内に「大阪東法人営業部」、京都支店(京都市下京区)内に「京都支店法人戦略室」を設置しました。
- 地元滋賀県を中心に、西は大阪から東の東海地区までの営業エリアを面で捉え、既存の店舗から人縁・地縁をつなぎ、お取引先の裾野を広げていく「にじみ出し」により、滋賀県内外のお取引先に更なる“知恵と親切の提供”を行います。



(大阪東法人営業部)



(京都支店法人戦略室)

地域密着型金融の推進の数値目標および実績

地域密着型金融の推進に関し、当行が平成28年3月末までに目指す数値目標とその進捗状況は下記のとおりです。

「3つのブランド戦略～知恵と親切の提供～」に関する取り組み

取り組み項目	平成28年3月末 目標	平成25年9月末 実績	平成25年9月末 進捗率(%)	地域密着型金融の推進に関する3つの視点		
				お取引先企業に 対するコンサル ティング機能の 発揮	地域の面的再生 への積極的な参 画(地域経済へ の更なる貢献)	地域やお客さま に対する積極的 な情報発信
1. 「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み						
ビジネスマッチング商談件数	3,000件	952件	31.7%			
ニュービジネスサポート：コーディネート活動件数	150件	42件	28.0%			
事業性融資先お取引先数	18,000先	17,904先	99.4%			
格付コミュニケーション・サービス実施先数(累計)	3,200先	2,713先	84.7%			
経営改善計画策定支援先数(累計) 1	3,000先	2,610先	87.0%			
2. 「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み						
海外ビジネスサポート件数 2	4,300件	1,214件	28.2%			
海外商談会、セミナー、ミッションの実施回数	30回	10回	33.3%			
3. 「CSRのしがぎん」に関する取り組み						
PLB資金、エコ・クリーン資金実行件数 3	600件	103件	17.1%			
エコプラス定期取り扱い件数、ネット投信電子交付サービス契約件数(合計)	500,000件	78,160件	15.6%			
ボランティア活動参加延べ人数	7,500名	1,284名	17.1%			

印は第5次長期経営計画の地域貢献目標として掲げている項目です。

- 1 経営改善計画には、当行所定の「ご相談シート」による簡易な計画も含まれます。
- 2 国際部アジアデスクおよび当行の海外拠点(香港支店、上海駐在員事務所、バンコク駐在員事務所)によるサポート。
- 3 PLB資金・・・「しがぎん」琵琶湖原則(Principles for Lake Biwa)支援資金。